

(別紙)

第4回ものづくり日本大賞 文部科学大臣賞

学校名 愛知県立刈谷工業高等学校(愛知県刈谷市矢場町2-210)

校長名 鈴木 直樹

案件の概要

(学校のものづくり人材育成に向けた特色ある取組)

○グローバル化に対応した工業英語教育

科目「工業技術英語」の副読本の編集を通して、当該校のみならず全国の工業高校生の英語力の向上に努めている。また、独立行政法人国際協力機構(JICA)の活動に積極的にに関わり、アジア、アフリカの各国政府の学校教育担当者と交流するなど、コミュニケーション能力等の向上を図っている。



JICAとの連携

○高度な技術・技能の習得と資格取得の推進

産学官の連携により、企業のもつ高度な技術・技能を積極的に学ぶ機会を設けるとともに、資格取得や各種競技大会への挑戦を促すなど、目標をもった意欲的な学習を通して知識や技術・技能の定着を図っている。



第47回技能五輪全国大会出場

○ものづくりによる地域貢献

企業の技術者と生徒が協力して、段差を乗り越える車椅子の製作(特許取得)などの製品開発とその改善に取り組んでいる。また、地元商店街のイルミネーションづくりや障がいのある小学生を対象とした工作教室(ロボット製作)などを通じ、ものづくりによる地域社会への貢献を行っている。



製作した車椅子

(取組を通して得られた具体的な成果)

○平成21年度第47回技能五輪全国大会
旋盤職種出場

○平成22年度第5回若年者ものづくり競技大会
電気工事職種第3位 等